



- 5 平成12年:全国高校総合体育大会
- 6 平成13年:たじみ創造館オープン
- 7 平成16年:合併協定調印式
- 8 平成18年:多治見市・笠原町合併記念式典
- 9 平成20年:うながっぱ特別住民票を交付



- 1 平成4年:多治見駅南地区
- 2 平成9年:オープン当時のまなびパークたじみ
- 3 平成10年:FM PiPi開局イベント
- 4 平成11年:開局当初のおりべネットワーク社屋



<2000

<1990

- 1983年 昭和58 多治見国際協会が発足する(会員/法人120・個人150)。
- 1984年 昭和59 防災行政同報無線を市内90カ所に設置する。
- 1985年 昭和60 総合体育館が完成する。

- 1986年 昭和61 東濃信用金庫初代理事長の関谷源吾氏、多治見商工会議所初代会頭の加藤庄八氏、中部圏産業の振興に貢献された加藤乙三郎氏が名誉市民に推挙される。
- 1988年 昭和63 初の国際陶磁器フェスティバルが開催される(会期11月2日〜9日、入場者数1万198人)。
- 1989年 平成元 多治見国際協会がテラホート市へ中学生を派遣する。

- 1990年 平成2 総合福祉センターが完成する。
- 1991年 平成3 テラホート市の中学生が多治見市を親善訪問する。
- 1993年 平成5 三の倉市民の里(地球村)が完成する。

- 1994年 平成6 かさほら潮見の森が開園する。
- 1995年 平成7 太平公園が完成する(1.7ヘクタール、16億円)。
- 1996年 平成8 産業文化センターが完成する(8319平方メートル)。

- 1997年 平成9 多治見市の人口が10万人を突破する。
- 1998年 平成10 瑞浪市内で水道管事故。多治見市、土岐市、瑞浪市で断水となる。
- 1999年 平成11 鈴木藏氏が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。

- 2000年 平成12 加藤卓男氏が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。名誉市民に推挙される。
- 1997年 平成9 「たじみのうた」が公開審査により選ばれる。
- 1998年 平成10 市街化区域及び市街化調整区域の設定(線引き)がされる。

- 2000年 平成12 指定ごみ袋制がスタートする。
- 1999年 平成11 学習館・図書館を備えた「まなびパークたじみ」が完成する(9204.09平方メートル)。
- 1998年 平成10 FMたじみ(FM PiPi)が開局される。

- 2001年 平成13 CATV「おりべネットワーク」が開局される。
- 2002年 平成14 「第14回国民文化祭・ぎふ99」が開催される(合唱の祭典、オリベフェスティバル、陶磁器産業フェア)。
- 2003年 平成15 ごみ23分別による資源ごみ収集を市内全域で開始する。

- 2004年 平成16 製販一体型集客交流施設「たじみ創造館」がオープンする。
- 2005年 平成17 岐阜県の多目的複合施設セラミックパークMINOが東町に完成する。
- 2006年 平成18 虎渓山永保寺で本堂、庫裏を焼失する。

- 2007年 平成19 国道19号線と国道248号線をつなぐ音羽明和線が開通する。
- 2008年 平成20 空き店舗を利用した市民活動交流支援センターを本町2丁目に開設する。
- 2009年 平成21 三の倉センターの新焼却場が完成する(85トン炉2基)。

- 2010年 平成22 産業文化センター内に起業支援センターを開設する。
- 2011年 平成23 まなびパークたじみ内に子どもの権利相談室を開設する。
- 2012年 平成24 住民意向調査の結果、東濃西部の合併協議が破談。合併協議会を解散する。

- 2013年 平成25 国道248号線南バイパスが開通する。
- 2014年 平成26 7月に笠原町との合併協議を開始。12月に合併協定書を調印。
- 2015年 平成27 東海環状自動車道が豊田東JCTから美濃関JCTの間で開通する。

- 2016年 平成28 図書館分館に子ども情報センターを開設する。
- 2017年 平成29 「日本緑内障学会多治見疫学調査」(多治見スタディ)の調査結果が世界大会で最優秀賞を受賞する。
- 2018年 平成30 昭和町と浄化センター内に雨水ポンプ場が完成する。

- 2019年 平成31 多治見商工会議所名誉会頭の坂崎重雄氏が名誉市民に推挙される。
- 2020年 令和元 1月23日、多治見市と笠原町が合併する。面積は77.79平方キロメートルから91.24平方キロメートルになる。
- 2021年 令和元 小中学校に2学期制を導入する。